

国際平和拠点ひろしま構想

ひろしまを国際平和の拠点に

国際平和拠点ひろしま構想策定委員会（9名）



明石 康
国際平和拠点ひろしま構想策定委員会座長
元国連事務次長（広報、軍縮、人道問題担当）、
（財）国際文化会館理事長

阿部 信泰
元国連事務次長（軍縮担当）、
（財）日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター所長
ウィリアム・ペリー
元米国国防長官、スタンフォード大学教授

川口 順子
元外務大臣、参議院議員
ギャレス・エバンス
元豪州外務大臣、
オーストラリア国立大学学長

ジョン・アイケンベリー
プリンストン大学教授（米国）
スコット・セーガン
スタンフォード大学教授（米国）

藤原 帰一
東京大学大学院法学政治学研究科教授
湯崎 英彦
広島県知事

構想策定の視点 3つの課題解決と3つの行動を包括的・継続的に進めることを提案しています。

核兵器のない平和な世界を実現するための3つの課題

1 核兵器の削減と廃絶の具体的なプロセスを構築し実行していく。

2 核兵器を保有し、使用する理由をなくしていくために、紛争や貧困など平和の実現に対する障害を除去する。

3 現行の「核抑止論」に替わる新たな国際的な安全保障体制を構築する。

広島の実験と力

「核兵器廃絶への信念」と「復興への希望と確信」という平和のメッセージを発信できる地

○「核兵器廃絶への信念」

核兵器による破壊の現実を知ることで「核兵器廃絶への信念」を持つことができます。

○「復興への希望と確信」

核兵器による廃墟から復興した現在の姿を見ることで「復興への希望と確信」を抱えることができます。

【3つの課題解決】

核兵器廃絶

核兵器廃絶の具体的なプロセスの構築

復興・平和構築

貧困や民族紛争など平和の実現への障害の除去

新たな安全保障体制

「核抑止論」に替わる新たな安全保障体制の構築

【3つの行動】

理論

平和のための理論の構築・研究集積

実践

復興・平和構築等の人づくり・NGOなど民間活動の支援。対話と和解の場の提供

メッセージ

世界へ核兵器による破壊の現実と平和の価値についてメッセージを発信

核兵器のない平和な国際社会の実現

広島の実験と力

広島の実験と力については、裏面をご覧ください。▶▶▶